

NEWS RELEASE



2025年9月26日
株式会社エアロネクスト

エアロネクスト、4D GRAVITY®搭載の新型物流専用ドローン「PD4B-M-AN」を発表 ～ライセンス契約を締結したプロドローンとのライセンス機体の第1号機～

株式会社エアロネクスト(本社：東京都渋谷区、代表取締役社長 グループCEO：田路 圭輔、以下エアロネクスト)は、エアロネクスト独自の機体構造設計技術4D GRAVITY®^{*1}を搭載した新開発の物流専用ドローン「PD4B-M-AN」(以下本機体)を愛知県名古屋市で2025年9月24日(水)から25日(木)に開催された第4回ドローンサミットで発表しました。

2024年2月に4D GRAVITY®テクノロジーライセンス契約を締結した株式会社プロドローン(愛知県名古屋市、代表取締役社長：戸谷 俊介、以下プロドローン)と共同開発した初の機体で、プロドローンの汎用機体のPD4B-Mに4D GRAVITY®搭載の荷物運搬用の新開発コンテナを取り付けたモデルです。コンパクトでありながら、安定性、運用性、機動性に優れた防水仕様の物流専用の機体となります。

本機体は株式会社NEXT DELIVERYが受託した、あいちモビリティイノベーションプロジェクト「空と道がつながる愛知モデル2030」における物流ドローン社会実装モデル推進事業で初めて実地飛行する予定です。(参考：愛知県による発表は[こちら](#))



第4回ドローンサミットで展示発表されたPD4B-M-AN
(正面より)



第4回ドローンサミットで展示発表されたPD4B-M-AN
(右斜めより)

【特徴】

- 独自の機体構造設計技術4D GRAVITY®による高い飛行性能
- 防水仕様のコンパクトな機体
- 最大 3kg までの荷物を自動制御で指定場所まで配送し自動で帰還
- 荷物の上入れ下置き機構で置き配が可能
- 分離結合構造により、機体前傾時でも荷室は水平に維持

【スペック】

大きさ	展開時モーター軸間距離：1,300mm 以下 (用途により変動あり)
機体重量	20 kg (バッテリー含む)
プロペラ直径	660 mm
搭載可能重量	3kg
最高速度	40 km/h
最長飛行時間	30 分 (3kg 搭載時)
最長飛行距離	20km
電波到達距離	LTE 電波圏内において制限なし
バッテリー	22,000 mAh × 4 本

以上

【ニュースリリースへの報道機関からのお問い合わせ】

株式会社エアロネクスト 広報部 (担当：伊東) Tel: 03-6455-0626 Email: info@aeronext.com

NEWS RELEASE

資料

*1 機体構造設計技術4D GRAVITY®

飛行中の姿勢、状態、動作によらないモーターの回転数の均一化や機体の形状・構造に基づく揚力・抗力・機体重心のコントロールなどにより空力特性を最適化することで、安定性・効率性・機動性といった産業用ドローンの基本性能や物流専用ドローンの運搬性能を向上させるエアロネクストが開発した機体構造設計技術。エアロネクストは、この技術の特許化し4D GRAVITY®特許ポートフォリオとして管理している。4D GRAVITY®による基本性能の向上により産業用ドローンの新たな市場、用途での利活用の可能性も広がる。

【株式会社エアロネクストとは】

エアロネクストは、「人生100年時代の新しい社会インフラで、豊かさが隅々まで行き渡る世界へ。」をミッションに掲げ、低空域を活用した今までにない新たな価値創造を推進しています。重力、空力特性を最適化することで、産業用ドローンの基本性能や物流専用ドローンの運搬性能を向上させる独自の機体構造設計技術4D GRAVITY®を提供する技術ライセンス事業、ドローン関連技術の共同開発や開発受託を行う共同開発事業を展開しています。また、戦略子会社株式会社NEXT DELIVERYを通じて、地域の物流を集約化、効率化していく新スマート物流SkyHub®事業、日本有数のノウハウと実績を持つチームが最先端の技術とスキルで推進するドローン運航事業を展開しています。SkyHub®事業は、すでに国内の複数地域で社会実装され、多くの課題を抱える地域物流の課題解決の貢献を推進しています。

*会社概要は <https://aeronext.co.jp/about/company/> をご覧下さい。

*エアロネクストおよびエアロネクストのロゴ、NEXT DELIVERY、並びに「4D GRAVITY (R)」は、株式会社エアロネクストの商標です。

*その他、このプレスリリースに記載されている会社名および製品・サービス名は、各社の登録商標または商標です。